

米国における最近のユニコーンの動静

本稿は、PitchBook News の記事（”UNICORNS : Charting how the unicorn baby boom turned bust in 2022”、2022年12月14日）に基づき、以下、2022年※（1月～11月、以下同様）の米国におけるユニコーンの動静を要約する。

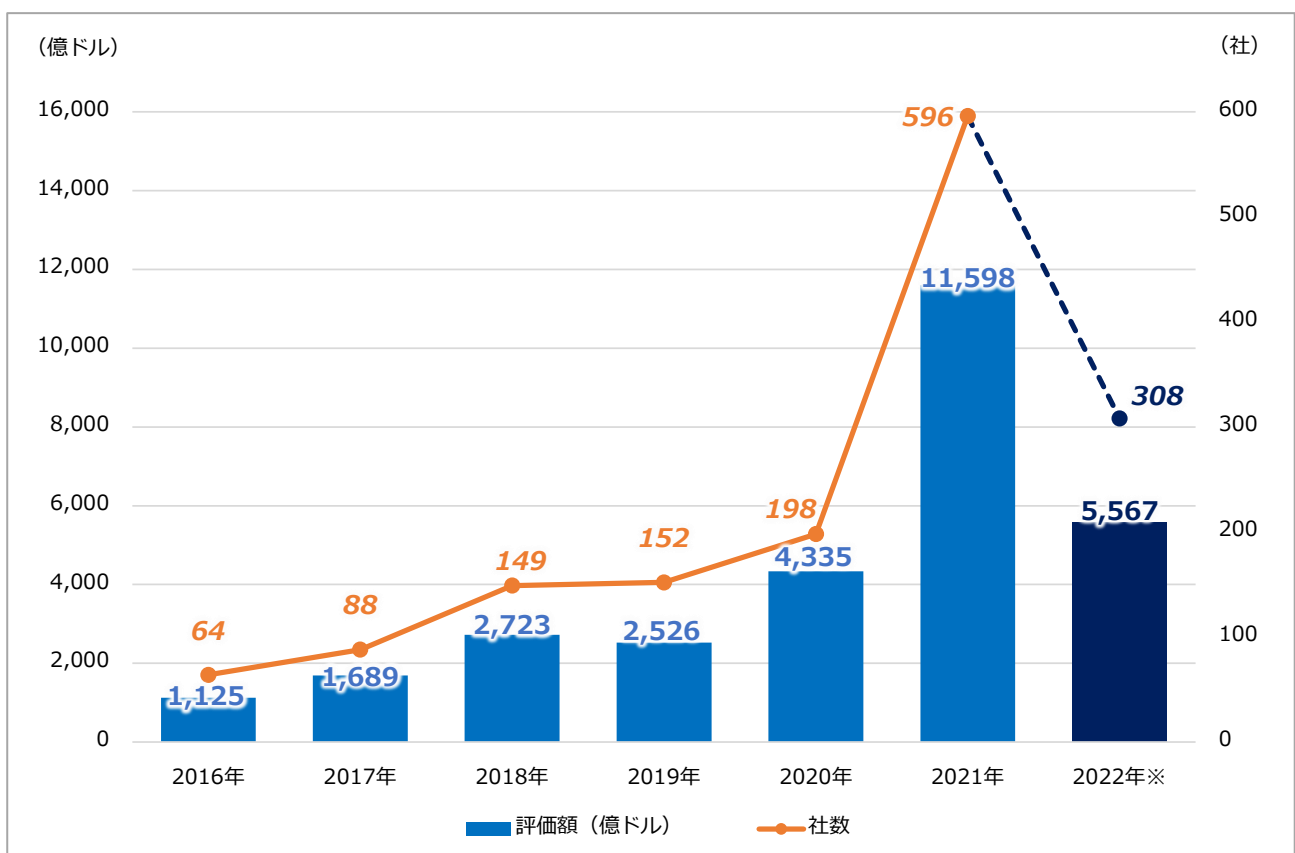
ユニコーン誕生の年別推移（2016年～2022年※）

PitchBook News によると、2022年※に誕生したユニコーンは308社で、その合計評価額は5,567億ドルと、2021年の596社、1兆1,598億ドルからいずれも反落している（図表1）。

2022年※に誕生したユニコーンの合計評価額5,567億ドルは2021年の既往ピーク1兆1,598億ドルに次いで2番目である。

なお、2022年※に誕生したユニコーンの合計評価額の平均値と中央値は、PitchBookによれば、それぞれ18億ドルと16億ドルで、どちらも2021年に次ぐものである。

図表1：ユニコーン誕生件数と、その合計評価額の年別推移（2016年～2022年※）



（出所：PitchBook News、VEC作成）

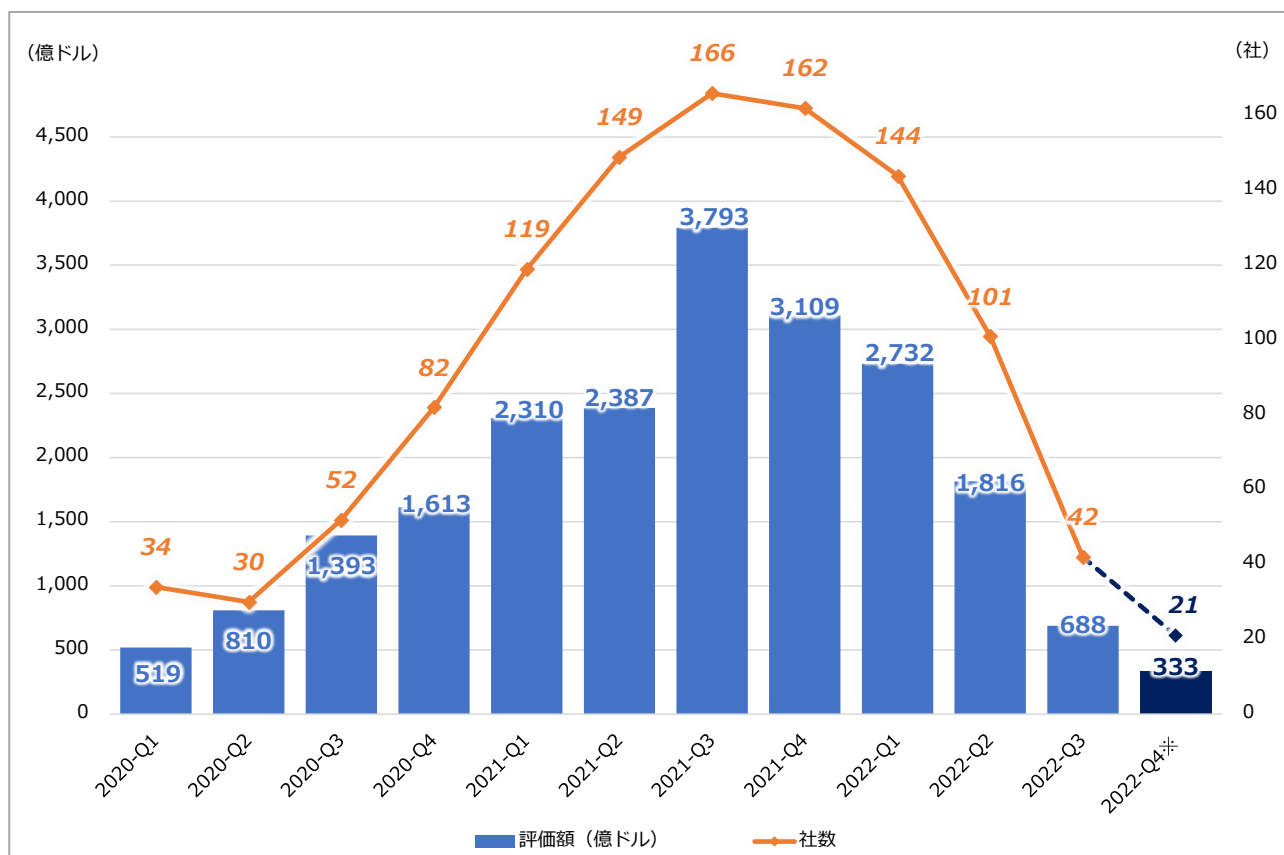
（注）2022年※は1月～11月

ユニコーン誕生の四半期別推移（2020-Q1～2022-Q4※）

2022年※の米国のユニコーンの誕生は社数、その合計評価額ともに依然として近年で2番目に高い水準ではあるが、今年後半は、その成長が大きく減速している（図表2）。

2021-Q3に既往ピークの166社、3,793億ドルを記録して以降、四半期ごとのユニコーンの誕生は減少傾向に転じ、2022-Q3は42社、688億ドル、Q4※（10月～11月、以下同じ）は21社、333億ドルと急速に減少している。

図表2：ユニコーン誕生件数と、その合計評価額の四半期別推移（2020-Q1～2022-Q4※）



（出所：PitchBook News、VEC作成）

（注）2022-Q4※は10月～11月

経済減速下でのバリュエーション

ユニコーンをめぐる2022年の大きな話題の一つは仮想通貨の台頭であり、もう一つはユニコーン自体の誕生の低迷だった。

今年新たに誕生したユニコーンをみると、企業価値上位10社のうち4社が仮想通貨またはフィンテック企業である。セシエルを拠点とする暗号通貨交換プラットフォームのKuCoinは、その中で最も価値のある企業である。

しかし10億ドル規模の仮想通貨スタートアップにとって、すべてが楽観的というわけではない。バハマに本拠を置く仮想通貨取引所FTXは11月11日に破算した。業界最大の企業の1つであったFTX

の突然の破綻は、特に仮想通貨において運命がいかに急速に変化する可能性があるか、そしてユニコーンの立場がいかに脆弱であることを示唆している。

FRB による最近の利上げにより、ユニコーンの評価額は株式市場ほどには低下していないとしても、その誕生率と評価額に打撃を与えている。

こうした状況下で、ユニコーンは淘汰の可能性に直面している。10 億ドル規模のスタートアップの約 4 分の 1 は評価額が 12 億ドル未満であり、これらの企業はユニコーンの分類から外れるリスクがあることを意味している。今年誕生したユニコーンの場合、その後、評価額が 10 億ドルを下回った企業の割合は 37%に達しているとのことである。

以 上